

きこえない・ きこえにくい人と 防災

— 警察・消防における災害対応と
情報保障の現状と市民理解促進 —

日時 2026年 **8月11日** (火・祝) 13:30~16:30 (開場 13:00)

場所 かながわ県民センター 3階 301会議室
(横浜駅西口・きた西口から徒歩5分)

参加費 一般 1,500円 / IGB会員 500円

定員
80名

目的 災害時および平時における「要配慮者(聴覚障害者等)」への情報伝達・避難支援の向上を目指します。

- ✓ 警察・消防が実際に行っている公的業務上の取り組み・制度・連携体制を正確に市民へ周知する
- ✓ 聴覚障害当事者の視点を踏まえ、今後の業務改善・住民理解促進につなげる
- ✓ 地域防災力向上および「誰一人取り残さない防災」の実現に寄与する



登壇者 (50音順)

警察分野



長田 幸治 氏

鶴見警察署北寺尾駐在所勤務 / 警部補 / 2024年から横浜市登録手話通訳者として活動開始 / 2025年1月に神奈川県内では2番目となる手話駐在所に認定 / 神奈川県警察手話クラブ「KP手話プロジェクト」会長 / 横浜市パラスポーツ指導員



消防分野



瀬戸 勇 氏

横浜市消防局司令課勤務 / 119番通報受付業務の傍ら横浜市登録手話通訳者としても活動 / 聴覚障害者の119番通報や応急救護活動、救急・災害現場や予防広報における情報保障の重要性等について、現場の視点で調査研究を行っている / 『地方公務員が本当にすごい!』と思う地方公務員アワード2019』受賞



きこえない当事者



山口 タケシ

両耳聴・片耳難聴・両耳失聴の3つの世界を知る中途失聴者 / NPO法人インフォメーションギャップバスター理事 / 防災士(日本防災士会会員) / 川崎市バリアフリーまちづくり連絡調整会委員 / 元プロミュージシャン / 『どんな状況でもそこにいる自分を楽しく』が座右の銘



プログラム (予定)

- 13:00 開場
- 13:30-13:35 開会挨拶・趣旨説明(IGB)
- 13:40-14:20 警察の立場から (長田氏)
- 14:25-15:05 消防の立場から (瀬戸氏)
- <休憩>
- 15:15-15:55 当事者の立場から (IGB 山口理事・防災士)
- 16:00-16:20 パネル形式での質疑応答 (長田氏/瀬戸氏/山口)
- 16:25-16:30 まとめ・閉会(IGB)

情報保障・運営体制



手話通訳



文字通訳
(UD トーク)



ヒアリングループ



録音・録画は
行いません。



開催前に
避難時の説明などを行います

きこえない・きこえにくい人も
安心して参加できるイベントです。
ご家族・支援者・一般の方も
ぜひご参加ください!



お申込み方法

IGBホームページの申込フォーム
または右の二次元コードから
お申し込みください。



お問い合わせ

staff@infogapbuster.org

※メールでのお問い合わせをお願いいたします。



NPO法人
インフォメーションギャップバスター (IGB)

Information Gap Buster

